

春節

2月8日から14日まで春節(旧正月)でした。台湾人にとって、春節はとても重要な行事です。春節は、日本人にとっての12月の年末のようなものなので、華人は帰省や帰国をします。そのため、公共交通機関は混雑し、お店も閉まっているところが多いです。台北はあまり特別なイベントはなく、人もいつもより少なかったです。他の地域の方がにぎわっているそうです。

私は、春節の時期に台南と高雄に行きました。お店が開いていないかもしれないと心配していたのですが、観光客が大勢訪れるからか、営業しているところが多かったです。また春節の時だけ限定で行われる夜市もあり、春節の特別な雰囲気を感じることができました。高雄の愛河というところに黄色いアヒルが2体いました。高雄ではアヒルが有名だそうです、頭にアヒルの人形をつけている人が街に多くいました。また、この河にいたアヒルは10年ぶりに展示が再開されたそうです。年明けから運がよかったみたいです。

高雄の有名な龍虎塔はいまだに工事中で見ることができませんでした。私が留学に来る前から工事をしているそうなので去年の夏からずっと工事中です。いつ終わるかは知らされていません。

台湾人は年明けに刮刮樂というスクラッチ宝くじをして一年の運勢を占う人が多いそうです。そのため、春節の時期には多くの人が刮刮樂を試している様子を何度も見ました。金額ごとに削ることができるスクラッチの量が異なります。また、当たる金額の幅も異なります。私は一番低い100元のスクラッチを挑戦しました。安定にはずれでした。



↑ 愛河のアヒル



↑ 春節限定の夜市



↑ まだ工事中の龍虎塔



↑ 刮刮樂
はずれです

新学期

2月の後半から新学期が始まりました。そして、新しいルームメイトも3人来ました。韓国人、中国人、日本人の3人です。私は最近韓国語の勉強を始め、韓国人と中国人のルームメイトは日本語も勉強しているそうなので、お互いに言語を教え合える環境ができて良かったです。

新学期ということで、授業を新たに履修します。交換生は先生から授業のコードをもらうことで履修をすることができるのですが、生徒の数が多すぎて別のレベルの授業を受けてくれと先生に言われました。ですが、私はこの授業を取ると決めてスケジュールを組んだので、あきらめずに次の週も授業に行きました。その結果、無事にコードを受け取ることができました。師範大学に留学される方は、授業登録で手間取ることがあるかもしれませんが、負けずに交渉すれば先生が理解してくれるのであきらめずに頑張ってください。

春の季節

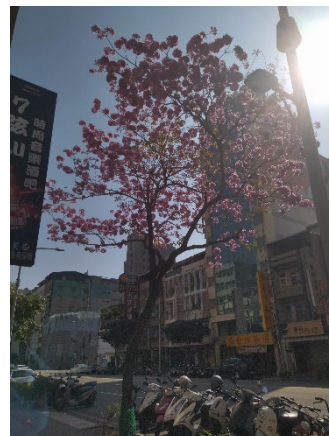
私は花粉症持ちです。そのため日本の春が少ししんどいのですが、台湾では花粉がないためとても快適な春を過ごしています。台湾には花粉はありませんが、気温が高いため、この時期でも蚊がいます。外に出て、帰ってくると蚊に何か所か刺されていることがあります。自分にとっていいことがあれば、悪いこともあるというものです。

また、最近は寒暖差が激しいです。昼は暑くて夜は寒いこともあれば、昨日は最高気温が10度前後だったけれども今日は最高気温が30度ほどなんて日もあって、少し天気に対してイライラします。



↑2月上旬、中正記念堂の桜

そして、冬でも日本と比べ気温が比較的高いため、台湾では早いところで1月下旬には桜を見ることができます。台湾の桜は色が少し濃く、パッと見ると梅のように見えます。日本のように桜が一か所にたくさんあり、満開になるととてもきれいな景色になるところが台北にはあまりありません。桜の木は一か所にぽつぽつとあるような感じです。



←2月上旬、高雄の桜